

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑩「国際社会」「グローバル(リゼーション)」「地球市民?」「理性?」etc. これらの行く末は?

I：本当に、最近、コロナ禍の永続化(→第三波襲来!)、身近な生活での非日常の恒常化(→ニューノーマル!)、一方で、国際社会の不透明・膠着(自国内のドタバタ?)、等々、肉体的にも、精神的にも、すっきりとしない日々が続いており、かなりの閉塞感が漂っているような状況ですが、少し元気を出して、標記のようなことについて、私(達?)なりに考えてみたいのですが、いかがですか?

D：世の多くの人達が、それこそ「生きる(生き延びる?)」ために、目の前の仕事・生活に全精力を傾けている中、私達だけが、このようなことをしていいのか?かなり複雑な心境ではありますが、私とあなたの関係では、付き合わないという選択肢はありませんね(笑)!

I：そうですか!それはよかった(同じく笑)!では、まずは、そのような4つのキーワードが、何故出てくるのか?その辺を、私から示すことにします。前二者については、まさに直結していますので、問題は、何故、「地球市民」とか、「理性」が出てくるのか?そういうことですね?!

D：確かに!要は、「国際社会」とか、「グローバル(リゼーション)」とか言われても、そこに、どのような内実(生活的納得?)があるのか?単に、あらゆる事象が、世界的に繋がっている!だから、他国との関係(利害?)を常に考慮しながら、仕事や活動をしていかなければならない!とは言え、往々にして、自国(自ら?)の利害が優先され(「大国?」では、それが顕著?)、何のための「国際社会」(「グローバル(リゼーション)」)なのか?そういうことにもなりますよね?!

I：「〇〇ファースト(第一主義)」とかというようなことかと思いますが、ある意味、人間(集団)の本能(宿命?)でしょうが、結局は、「自ら(自国?)」が可愛い(大切?)ということですね!だから、そこには、「地球市民」とか、「理性」とかというものが、一方で必要となってくる?!

D：なお、「地球市民」というのは、まさに「コスモポリタン」ということで、「① コスモポリタニズムを奉ずる人。世界主義者。② 国籍、国民感情などに左右されない人。世界的視野をもち、世界的に活躍する人、外国人との交際の多い人、祖国を忘れて世界をわたり歩く人などをさしている。また、国籍、国民感情などにとらわれないさま。」とあるようですが、ここでは、自国のことだけを考えない人というような意味でいいのだと思います!

I：まったく、そういうことなのですが、実は、それは、もう一つの「理性」ということにも直結していると思うのです!

D：それは、「1 道理によって物事を判断する心の働き。論理的、概念的に思考する能力。2 善悪・真偽などを正当に判断し、道徳や義務の意識を自分に与える能力。3 カント哲学で、広義には先天的能力一般。狭義には悟性・感性から区別され、悟性の概念作用を原理的に統一・制御・体系化する無制約の認識能力。理念の能力。4 ヘーゲル哲学で、悟性が抽象的思考の能力であるのに対して、弁証法的な具体的思考の能力。5 宇宙・人生をつかさどる基本原理」とありますが、ここでは、当然、1と2ということですね?!

I：まさに、そうですね!だけど、これから、その「理性」は、一体どうなっていくのでしょうかね?

D：たとえばAIが、それに代わっていくとしても(苦笑?)、要は、自分(達)が生きている社会(世界)の状況を、目の前の自分(達)の生活状況の中で、どのように見る(受け止める)かということですが、ここが、やはり難しい?古代ギリシャにおいて、「地球市民(コスモポリタン)」というようなことが言われたり、「近代」になって、カントが「理性」を追求したりしたことは、ある意味、いつの時代も、そうした人間存在の普遍性(内面的価値?)は、その時代時代で、常に頭を悩ませるものでもあるということかもしれませんね?!(つづく)